

1. 第1回理科教育賞選考結果

大賞

一橋と副賞 100万円 1件

福岡県 筑後市立水田小学校



<儀式で贈書贈呈>
向かって左から、平井教諭、久村副理事長、北原校長、嶋山教諭



<筑後市長室にて 橋の贈呈>
向かって左から、北原校長、中村筑後市長、高巣教育長

理科教育賞

一橋と副賞 50万円 2件

神奈川県 横浜市立井土ヶ谷小学校
栃木県 宇都宮市立瑞穂台小学校



辻主幹教諭(左)と伊藤校長



高山校長

選考委員特別賞

一橋と副賞 20万円 2件

神奈川県 横浜市立立野小学校
神奈川県 東海大学付属本田記念幼稚園



嶋田校長



庄司園長

第1回理科教育賞 大賞受賞校

筑後市立水田小学校 学校長 北原 孝徳

今回、第1回理科教育賞大賞という栄誉ある賞を賜り、本校職員や児童はもとより、保護者や校区の方々も共に受賞を喜び合っています。これまで理科教育の研究を経験した教員は、殆どいないという状況を克服して、2012(平成24)年11月筑後地区理科教育研究大会を開催することができました。多様な意見を交わした予備実験を兼ねた理科室での指導案審議や教材の準備に奔走した日々など、今回の大賞受賞は、本校職員の地道な努力と研究大会運営を支援していただいた筑後地区ならびに筑後市理科教育研究会との連携の結晶と言えます。

「不思議を感じる気持ち、なぜと問う心、どうしようと行動に移す力が科学の心であり、社会を変える心、未来を創る力である。」美馬のゆり先生(日産財団理事)が記されていますように、これからも理科教育を通して、未来を拓いてく力を身に付けた子どもたちを育てていきたいと思ひます。

2. 第1回理科教育賞の選定 <講評>

日産財団は、「子どもたちの科学的思考能力の向上」を目的として、優れた理科教育に取り組んでいる幼稚園・小・中学校を支援するために、「理科教育助成」プログラムを実施している。

このたび、2010年度に提案した理科教育の実践課題で助成を受け、2年間の教育実践を終えた神奈川県下12校、福岡県下7校、栃木県下4校、合計23校から提出された成果報告書による書面選考を経て、第1回理科教育賞の候補5校を選定した。

これら5校による成果発表会が7月26日に開催され、最終選考の結果、下記の各賞受賞校を決定した。



選考委員会委員長
西本 清一

【理科教育賞 大賞】

筑後市立水田小学校：適切な観察実験の課題を選定し、観察結果に基づく仮説の設定と検証に主眼をおいた理科教育に全学を挙げて取り組んでいる。教員の指導レベル向上にも努めており、「のびしろ」の大きな成果を挙げている。

【理科教育賞】

横浜市立井土ヶ谷小学校：明確なビジョンの下に多様なメニューの理科教育を実践し、全国的にも模範となる成果を挙げている。従来の取組で蓄積された成果をスタートラインとして、2年間の取組によって得られた「のびしろ」の度合いを明確化する必要がある。

宇都宮市立瑞穂台小学校：中学レベルの理科教育に連動し得る本格的な実験課題を設定し、大きな成果を挙げている。この教育実践の成果を全学の教員が共有し、さらに波及効果を及ぼす取組となることを期待したい。

【選考委員特別賞】

横浜市立立野小学校：子どもたちの興味を喚起するような実験課題を工夫し、多様な自然現象を理解させようとしており、優れた取組になっている。

東海大学付属本田記念幼稚園：工作を主体とした教育を受けた園児たちが小学校でどのように育っていくか、今後の成長過程を引き続き追跡したい取組になっている。